

KDbarcode_OUT

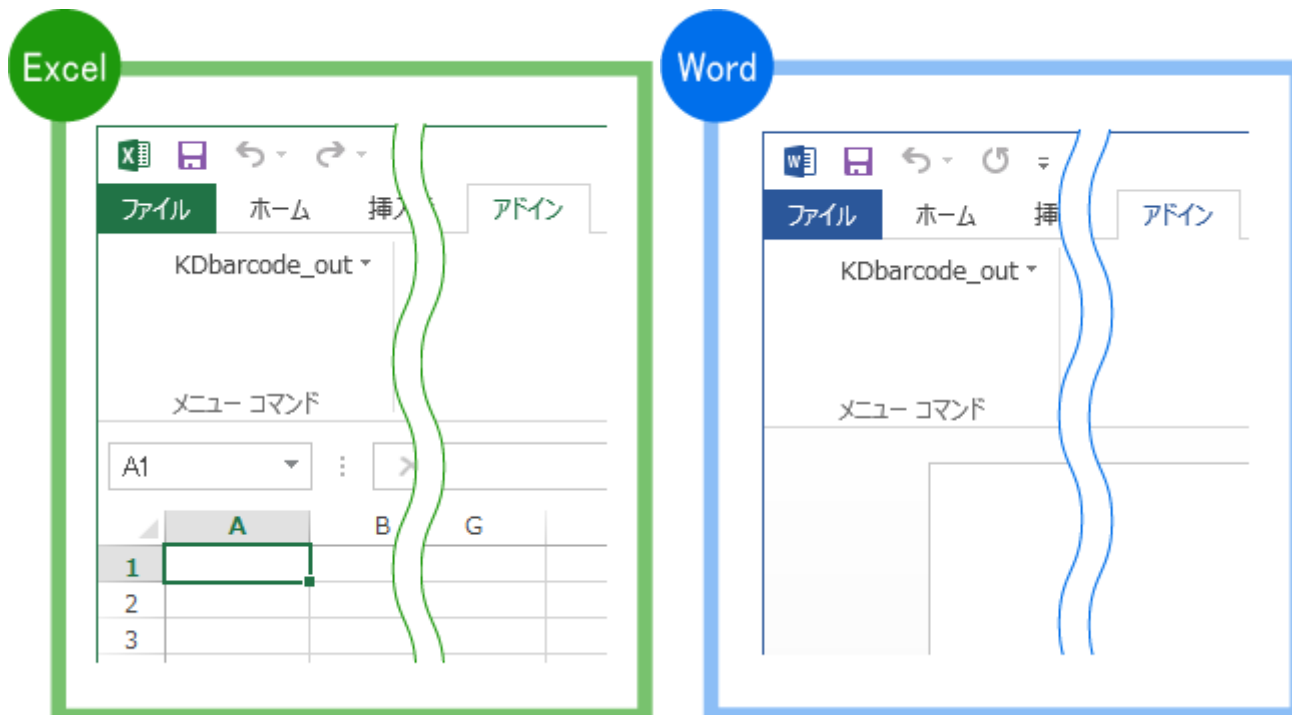
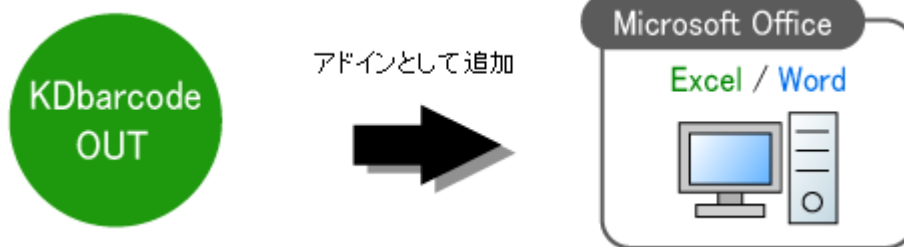
Microsoft WORD/EXCEL のアドイン製品

KCS カーネルコンピュータシステム

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル 6F
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<https://www.kernelcomputer.co.jp>

処理概要

KDbarcode_out は Microsoft WORD/EXCEL のアドイン機能を使用してバーコード（一次元、二次元）をページまたはセルに貼り付けます。バーコードデータは Microsoft WORD/EXCEL の任意の位置に記述されている文字列か選択されているセルに記述されている文字列やテキストファイルの内容、設定ダイアログに記述されている文字列になります。貼り付けられるバーコードはイメージデータとなっています。




出力可能なバーコードの種類


各バーコードはそれぞれのバーコードの仕様に準拠します。

バーコードの種類	対応バーコードの名称
CODE39	Code39 桁数は任意
CODE128	全ての Code128 桁数は任意
JAN13	JAN および EAN コードのうち、13 桁のもの
JAN8	JAN および EAN コードのうち、8 桁のもの
ITF	ITF 桁数は任意
EAN128	Code128 のうち、UCC/EAN128 規格に適合するもの
NW-7	NW-7 桁数は任意
RSS	RSS バーコード
CUSTOMER	郵便カスタマバーコード
MEDICALMATERIAL	医療資材商品バーコード
CONVENI_BAR	コンビニバーコード
QR (MICROQR_CODE)	QR コード 型番は任意
DATAMATRIX	DataMatrix コード ECC2000 のみサポート
PDF417 (MICROPDF417)	PDF417 コード
MAXICODE	MaxiCode コード
EAN.UCC_COMPOSITE	EAN.UCC 合成シンボル

操作例 CODE39


	A	B	C	D	E	F
1	品番	123456789-123456789-123				
2	No.					
3	商品コード	123-12345678901235-001				
4						
5						
6						

↓ 作成

	A	B	C	D	E	F
1	品番	123456789-123456789-123				
2	No.					
3	商品コード	123-12345678901235-001				
4						
5						
6						

バーコードの位置を微調

→

	A	B	C	D	E	F
1	品番	123456789-123456789-123				
2	No.					
3	商品コード	123-12345678901235-001				
4						
5						
6						

商品コードの内容を CODE39 にする

作成された CODE39 バーコードはここに貼り付けられるように設定する

※バーコードはイメージで作成されていますので、作成されたバーコードをクリックして移動させることによって位置の微調整ができます。

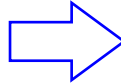
バーコード取得方法

＜カーソルのあるセルから取得する＞

選択されているセルにある文字列をバーコードデータとして使用します。
Ctrl キーを押しながらセルを選択する事により、複数のセルを選択する事が可能です。
複数選択された場合は、選択されたセルの順番でデータを連結したものをバーコードデータとして使用します。

	A	B	C
1			
2	ABC		
3		DEF	
4			GHIJ
5			
6			

バーコードの作成



	A	B	C
1			
2	ABC		
3		DEF	
4			GHIJ
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			

＜指定セルから取得する＞

指定されたセルにある文字列をバーコードデータとして使用します。

＜指定方法＞

入力は列行の英数字で指定して下さい。

例：列「B」、行「22」を指定する場合は「B22」と入力して下さい。

＜複数指定の場合＞

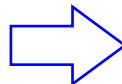
複数のセルを指定したい場合はカンマ[,]で区切って指定して下さい。

複数指定した場合は、指定したセルの順番でデータを連結したものをバーコードデータとして使用します。

例：列「B」、行「10」と列「A」、行「21」を指定する場合は「B10, A21」と入力して下さい。

	A	B	C
1	品番	名称	
2	123456	ABC	
3	002563	DEF	
4	125356	GHI	
5	000100	JKL	
6	158963	MNO	
7			
8			
9			

バーコードの作成



セル「A3」と「B3」を指定します。

	A	B
1	品番	名称
2	123456	ABC
3	002563	DEF
4	125356	GHI
5	000100	JKL
6	158963	MNO
7		
8		
9		
10		

＜テキストファイルから取得する＞

指定するテキストファイルの内容はバイナリーデータや制御文字等が可能です。
テキストファイルを使用する事により、改行コードやバイナリーデータ等を扱えるようになります。

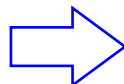
＜使用可能なバーコード＞

- ・ QR_CODE
- ・ MICROQR_CODE
- ・ MICROQR_QR_CODE
- ・ DATAMATRIX
- ・ PDF417
- ・ MicroPDF417
- ・ MAXICODE
- ・ EAN_UCC_COMPOSITE



Sample.txt

バーコードの作成



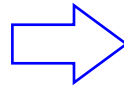
	A	B
1		
2		
3		
4		
5		
6		


＜テキストボックスから取得する＞

バーコードデータを EXCEL のセルやテキストファイルからではなく、テキストボックスから取得します。

テキストボックスから取得

バーコードの作成



	A	B	C
1			
2	*01234567892*		
3			
4			
5			

＜項目ダイアログから取得する＞

バーコードを構成する項目毎にセルを指定する事が可能になります。
 項目ひとつにつきセルをひとつ指定する事が出来ます。
 複数のセルを指定する事は出来ませんので、指定されたセルに必ず項目の内容が入力されている必要があります。

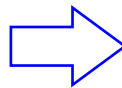
＜使用可能なバーコード＞


- ・ JAN13 ・ JAN8 ・ ITF ・ CONVENI_BAR ・ MEDICALMATERIAL ・ MAXICODE
- ・ EAN_UCC_COMPOSITE

	A	B	C
1	49	12345	67890
2			
3			
4			

項目ダイアログから取得
 JANコードの設定
 国コード
 メーカーコード
 商品アイテムコード

バーコードの作成



	A	B	C
1	49	12345	67890
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8	4	912345	678904
9			

＜プロパティ情報から取得する＞

バーコード出力を行うファイルに設定されているプロパティ情報からデータを取得して、バーコードを作成します。

＜使用可能なバーコード＞

- ・ QR_CODE ・ MICROQR_CODE ・ DATAMATRIX ・ PDF417 ・ MICROPDF417

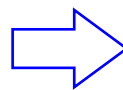
＜抽出可能なプロパティの項目＞

- ・ タイトル ・ 表題 ・ 作成者 ・ カテゴリ ・ キーワード ・ コメント

sample.xlsのプロパティ

全般 カスタム 概要
 タイトル
 表題
 作成者
 カテゴリ
 キーワード
 コメント

バーコードの作成



	A	B
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

プロパティに登録されている情報

バーコードサンプル

- 出力可能なバーコードの種類は次の通りです。

CODE39

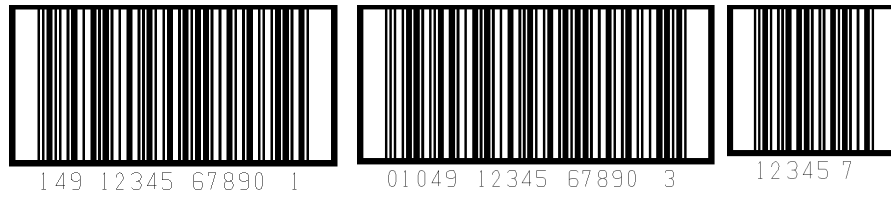


ABC123\$

JAN (標準(13桁)、短縮(8桁))



ITF (標準(14桁)、拡張(16桁)、アドオンバージョン)



CODE128



UCC/EAN128



NW-7



QR_CODE (MICROQR_CODE)



DataMatrix (正方形, 矩形)



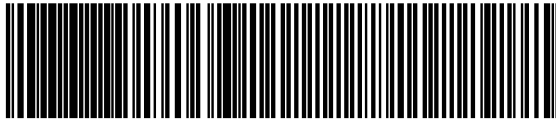
カスタマバーコード (郵便バーコード)



PDF417 (スタンダードタイプ, トランケートタイプ)



コンビニバーコード



(91) 912345-1234567890123000000000
061231-0-001500-2

医療資材商品コード

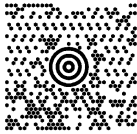


(01) 14512345670129(17) 061231(30) 100(10) ABCD(21) EFG



(01) 14512345670129(30) 100(10) ABCD

Maxi Code



RSS (Standard, Truncated, Stacked, Stacked Omnidirectional, Limited, Expanded, Expanded Stacked)



(01) 00000012345670



(01) 00000012345670



(01) 00000012345670



(01) 00000012345670



(01) 00000012345670



12345678901234567890



12345678901234567890

EAN_UCC_COMPOSITE



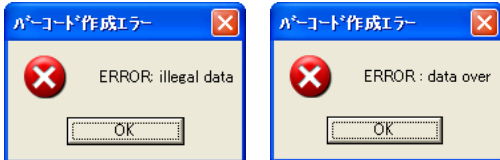
(01) 00000001234565

- ・バーコードデータは Microsoft WORD/EXECL の任意の位置に記述されている文字列を指定します。
- ・EXCEL 用の場合は複数のセルからデータを集めて、そのデータをバーコードにする事が可能です。
- ・QR_CODE, DataMatrix, PDF417, MaxiCode は任意のファイルを指定し、そのファイルの内容をバーコードにする事が可能です。ファイルの内容は問いませんが、指定したバーコードの種類で処理できる内容である必要があります。
- ・JAN, ITF, コンビニバーコード, 医療資材商品コード, MaxiCode はバーコードを構成する項目毎に、データを指定する事が可能です。
- ・バーコードの幅、高さ、最も細いバー幅を設定する事でバーコードのサイズを調整する事が可能です
- ・バーコードの向き (0 度, 90 度, 180 度, 270 度) を指定する事が可能です。
(カスタマバーコード (郵便バーコード) は 0 度と 90 度のみ)
- ・バーコードの解像度を上げる事によって精度を上げる事が可能です。
- ・EXCEL 用の場合は複数のシートを一度にまとめて処理する事が可能です。
- ・貼り付けられたバーコードを別の場所に移動する場合に、再度バーコードを作成する必要がありません。
貼り付けられたバーコードをマウスでクリックしたまま移動する事が可能です。

注意事項

<共通事項>

- (1) バーコードの解像度が荒い場合、サイズが小さすぎると読み取れない場合があります。
読み取れない場合は「KDbarcode_out (K)」メニューの「設定」をクリックして「KDbarcode_out の設定」ダイアログからバーコードの幅、高さ、最も細かいバー幅、解像度を変更してサイズを調整して下さい。
- (2) 印刷時には印刷プリンタの解像度、色の濃度により読み取れない場合があります。
- (3) バーコードの種類によっては文字数が決められているものがあります。
バーコードの文字数が多い場合は「ERROR: illegal data」か「ERROR: data over」が表示されます。



- (4) 選択しているバーコードの種類で使えない文字を指定した場合は「ERROR: illegal data」が表示されます。



- (5) QR_CODE, DATAMATRIX の型番選択を指定した場合、バーコードデータが指定された型番に収まらない場合は「ERROR: Type No Small [n]」が表示されます。
([n]の数字はバーコードデータが収まる最小型番を表しています。この型番以上の数値を設定して下さい)



<EXCEL 用>

- (1) 複数セルを選択する場合は、Ctrl キーを押した状態でひとつずつセルを選択して下さい。
Shift キーを押しての複数選択やマウスの左ボタンをクリックした状態でマウスを移動しての複数選択には対応していません。
- (2) セルの書式設定で「セルを結合する」を設定して結合しているセルからデータを取得する場合は、「バーコードの取得方法」を「指定セルから取得」に設定してデータの取得を行って下さい。
「カーソルのあるセルから取得」は結合しているセルには対応していません。
指定するセルアドレスは、結合しているセルの左上のセルアドレスを指定して下さい。
例えば[A1], [A2]を結合している場合は[A1]を指定して下さい。[A2], [B2], [C2], [D2]を結合している場合は[A2]を指定して下さい。

<WORD 用>

- (1) バーコードデータとして取得する文字列は半角の[""] (ダブルコーテーション) で囲まれている必要があります。
例: "12345678"
注: ツールメニューのオートコレクト設定で入力フォーマット、一括フォーマットタブで「'」を「”」に変更する」にチェックが入っていると自動的に全角の[""]ダブルコーテーションになってしまいますのでチェックを外して下さい。
- (2) バーコードデータとして取得する文字列内に[""] (ダブルコーテーション) を入れる場合は2つ連続で入力して下さい。
例: "123456""ABC""789"

- (3) バーコードデータとして取得する文字列はカーソルのある文字からページの最後の文字に向かって、最初に見つかった["]で囲まれている文字列となります。
- (4) WORD を起動しようとしたがエラーになって WORD が起動しなくなった場合は、Windows がインストールされているドライブの
[Documents and Settings¥ログイン名¥Application Data¥Microsoft¥Templates]
にある「Normal.dot」ファイルを削除して下さい。

例 : Windows が [C] ドライブにインストールされていて「TEST」という名前でログインしている場合
C:¥Documents and Settings¥TEST¥Application Data¥Microsoft¥Templates

対応 OS

- ・ Windows XP
- ・ Windows Server 2003
- ・ Windows Vista
- ・ Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2
- ・ Windows 7
- ・ Windows 8 / Windows 8.1
- ・ Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2
- ・ Windows 10
- ・ Windows Server 2016

動作環境

Microsoft Office 対応バージョン

- ・ Office 2000
- ・ Office XP
- ・ Office 2003
- ・ Office 2007
- ・ Office 2010
- ・ Office 2013
- ・ Office 2016
- ・ Office 2019
- ・ Microsoft 365

※ バージョン 2013 以前は 32 ビット版のみ、2016 以降と 365 は 32/64 ビット版両方に対応

標準価格

KDbarcode_out (バーコード作成) : 25 万円(税抜き)